

松前・奥州街道から海峽を軸にしたまちづくりを考える

平成28年3月26日 北海道新幹線開業に向けて



# とうほく 街道会議

## 第11回交流会 青森大会

平成27年11月20日(金)・21日(土)

会場 ねぶたの家ワ・ラッセ

青森市安方1-1-1 TEL.017-752-1311

- 主催 とうほく街道会議 第11回交流会青森大会実行委員会  
東北地方整備局青森河川国道事務所／青森県／青森市／青森商工会議所  
(社)青森観光コンベンション協会／あおもりかいどう会議
- 共催 とうほく街道会議
- 主管 あおもりかいどう会議
- 後援 NPO法人全国街道交流会議／NPO法人東北みち会議／みやぎ街道交流会／ふくしまけん街道交流会  
出羽の古道 六十里越街道会議／越後米沢街道・十三峠交流会／関山街道フォーラム協議会／羽州街道交流会  
(株)東奥日報社／(株)デーリー東北新聞社／(株)陸奥新報社／NHK青森放送局／青森放送(株)  
(株)青森テレビ／(株)青森朝日放送／(株)エフエム青森／今別町／外ヶ浜町／蓬田村／平内町
- 助成 (公財)むつ小川原地域・産業振興財団／(公財)青森県市町村振興協会



(公財)むつ小川原地域・産業振興財団 (公財)青森県市町村振興協会の支援を受けて実施して  
むつ財団。います。

# とうほく街道会議

第11回交流会 青森大会  
プログラム



## 交流会

13:00~17:00

### 1. オープニングセレモニー

13:00~13:30

2F イベントホール

- |               |                 |          |
|---------------|-----------------|----------|
| ○オープニング       | ねぶた囃子           | 青森ねぶた凱立会 |
| ○主催者挨拶        | 青森大会 大会長 (青森市長) | 鹿内 博 氏   |
| ○とうほく街道会議代表挨拶 | とうほく街道会議 会長代行   | 梅津 輝雄 氏  |
| ○来賓挨拶         |                 |          |
| ○次回開催地挨拶      |                 |          |

### 2. 基調講演

13:30~15:00

2F イベントホール

#### 『津軽からみた松前と松前からみた津軽ー江戸時代の飢饉と亡命ー』

「しょっぱい川」の異名を持つ津軽海峡を挟んで、江戸時代には米どころの津軽と米が取れない松前・蝦夷地が対峙していた。江戸時代に東北地方はしばしば飢饉に見舞われた。墓石の調査から、農業国の津軽と非農業国の松前の人的被害状況や、飢饉を契機として海峡を越え北に向かった人々の姿が見えてきた。あわせて近年弘前で発見された松前藩主松前徳廣の仮埋葬墓を通して、箱館戦争当時の弘前藩と松前（館）藩の政治的関係についても考えてみたい。

〈講師〉 関根 達人 氏 (弘前大学人文学部教授/弘前市)

昭和40年、埼玉県春日部市生まれ。平成4年、東北大学大学院文学研究科博士後期3年の課程中途退学。博士(文学)。平成4年東北大学文学部助手(東北大学埋蔵文化財調査室調査員)。平成22年、弘前大学人文学部教授。現在、弘前大学大学院地域社会研究科教授(併任)。弘前大学人文学部北日本考古学センター長(併任)。主な著書として、『中近世の蝦夷地と北方交易』(単著・吉川弘文館・2014)、『あおり歴史モノ語り』(単著・無明舎・2008)、『松前の墓石から見た近世日本』(共編著・北海道出版企画センター・2012)、『朝日百科週刊日本の歴史49号(旧石器・縄文)』(共編著・朝日新聞出版・2014)など。

### 3. 分科会(パネルディスカッション)

#### 第1分科会

15:20~16:50

2F イベントホール

#### 『海道(湊)からまちづくりを考える』

青森市は奥州(松前)・羽州の両街道が交わる交通の要衝であり、かつては海峡を越えて大陸にまでの交易のターミナルともいえるエリアでした。観光的な視点もさることながら、自然、歴史、文化など東北の貴重な地域資源を生かすために、街道・海道(湊)をキーワードにまちづくりの手法を語り合ってください。

〈コーディネーター〉 阿部 一能 氏 (あおりかいどう会議 副会長/青森市)

昭和30年、青森市生まれ。(株)青森テレビを経て、平成12年、(株)サンブラッソ・エイティブイを設立。あおりかいどう会議としての活動に加え、特定非営利活動法人青森ITSクラブ理事長、特定非営利活動法人青森地域再生コンズ理事として、まちづくりや地域づくり活動に携わる。

〈パネリスト〉 石塚 宗司 氏 (東北地方整備局青森河川国道事務所 所長/青森市)

昭和38年、北海道稚内市生まれ。北海道大学工学部卒。前職、北海道開発局札幌開発建設部次長時代に遊水地整備、夕張シューパロダム建設事業など石狩川の治水事業を担当。主に北海道内の直轄河川改修事業、ダム建設事業、釧路湿原自然再生をはじめとする河川環境整備事業などを担当。平成26年4月より現職。

木村 隆次 氏 (一般社団法人青森県薬剤師会 会長/青森市)

昭和33年、青森市生まれ。城西大学薬学部卒。製薬会社でMR(医薬情報担当者)として約8年間勤務した後、青森市内で薬局を開業。介護保険制度のスタートと同時に居宅介護支援事業所を開設。現在は、青森県介護支援専門員協会副会長、日本薬剤師会理事、青森県薬剤師会会長を務める。また、介護報酬を決める社会保障審議会介護給付費分科会と、介護保険制度(法に関すること等)を議論する社会保障審議会介護保険部会の委員のほか、国・県・市の医療、福祉、介護関係の審議会や委員会等にて委員を歴任。平成27年10月、薬事功労者厚生労働大臣表彰。

高坂 幹 氏 (青森県観光国際戦略局 局長/青森市)

昭和32年、弘前市生まれ。北海道大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程卒。(社)青森県建築士会まちづくり委員会元委員長。昭和56年、青森県庁入庁。建築住宅課を経て平成15年、商工労働部商工政策課総括主幹。平成17年、工業振興課総括主幹。平成18年、エネルギー総合対策局副参事。平成20年、情報システム課副参事。平成22年、国際交流推進課長。平成23年、観光企画課長。平成25年、観光国際戦略局次長。平成27年4月より現職。

## 『海峡を挟んだモノ・ヒトの流れ』

青森県(もしくは本州)と北海道とは、数万年前から現在に至るまで、様々な「モノ」・「文化」・「ヒト」の流れ・交流が海峡を越えて行われてきました。また、青森は、三方を海に囲まれた特異な地域で、さまざまな「みち」が合流する地でもあり、起点・終点でもあります。これまでの出土遺物や研究成果を交え、北東北・北海道の地域資源を歴史から探り、古代、中・近世、幕末・明治期に焦点を当て、語り合ってください。

〈コーディネーター〉 関根 達人 氏 (弘前大学人文学部教授/弘前市)

〈パネリスト〉 工藤 清泰 氏 (青森県考古学会元会長/青森市)

昭和30年、つがる市生まれ。弘前大学教育学部卒。元青森県考古学会会長。昭和53年から旧浪岡町職員として浪岡城跡の発掘調査に従事、生涯学習課文化班長、町史編さん室主幹、合併対策室長を歴任。合併後の平成17年からは青森市史編さん室長、市長公室長、市民政策部長を経て、現在は青森市浪岡区長。

主な著作として、「考古学研究における境界性…古代・中世への視点から…」『青森県史研究第1号』(青森県・1997) / 「館」発生の考察『帝京大学山梨文化財研究所研究報告第9集』(帝京大学山梨文化財研究所・1999) / 「蝦夷人の往来—津軽海峡—」『ものがたり日本列島に生きた人たち10景観』(岩波書店・1999) / 「北へ向かった人々—謎の埋納銭をめぐる—」『日本海域歴史体系第三巻中世篇』(清文堂・2005)など。

佐藤 智雄 氏 (函館市教育委員会/函館市)

昭和34年、青森県五戸町生まれ。昭和61年、東北学院大学文学部史学科卒業。青森県市浦村教育委員会、戸井町教育委員会を経て、現在、函館市教育委員会文化財課主査・学芸員。市浦村歴史民俗資料館・縄文文化交流センターの立ち上げ時には企画と展示を担当。五稜郭・箱館戦争を中心に縄文から明治に至る幅広い時代の特別企画展を市立函館博物館で開催。文化財課では石倉貝塚他市内遺跡の調査・協議を担当する。また、平成25年から岩手県大船渡市に派遣され、被災地で埋蔵文化財の調査を担当した。

主な著述として、『函館ハリストス正教会史』(分担執筆・ハリストス正教会・2011) / 『近代日本の万能人・榎本武揚』(分担執筆・藤原書店・2008) / 『箱館戦争銘々伝』(分担執筆・新人物往来社・2007)など。

齋藤 淳 氏 (中泊町博物館/中泊町)

昭和41年、黒石市生まれ。平成元年、明治大学文学部考古学専攻卒業後、旧中里町教育委員会勤務。中里城遺跡ほか町内遺跡の発掘調査を手がける。平成10年より中泊町博物館学芸員として、企画展や教育普及活動に取り組んでいる。

主要論文として、「北奥における生業活動の地域性について」『古代蝦夷からアイヌへ』(吉川弘文館・2007) / 「北奥「蝦夷」社会の展開」『地域と文化の考古学II』(明治大学文学部考古学研究室・2008) / 「古代北奥・北海道の地域間交流—土器器坏と擦文(系)土器—」『海峡と古代蝦夷』(高志書院・2011)など。

## 街道パネル展

12:00~16:30

1F 交流学習室

東北各地の街道関係交流連携団体の活動紹介パネル

## 街道談義

17:30~19:30

1F レストラン 魚っ喰いの田

青森県の郷土料理や東北の地酒による交流会 参加費：4,000円

## 街道探訪会

参加費：各2,000円 (バス代・昼食・保険代含む)

## A 松前街道コース

9:00~15:00

【9:00】JR青森駅西口

観瀾山公園

外ヶ浜町平館地区(街道歩き)

高野崎

道の駅いまべつ(昼食)

本覚寺

【15:00予定】JR青森駅 解散

## B 奥州街道コース

10:00~13:00

【10:00】ねぶたの家ワ・ラッセ(講演会1時間)

青森市駅前地区(奥州街道まち歩き)※

古川市場(昼食)

【13:00予定】JR青森駅 解散

※雨天の場合は青森県立郷土館での見学となります。



